6. 事務事業の事後評価★						
評価視点	評価		評価の理由、または認識している課題を記載			
妥当性評価	高い		歩道上などの公共スペースに駐輪する自転車を減らし、安全な歩行空間を確保することが目的であり、市民の広域交通網の利用及び広域的利便性を図るため、市が一般利用者向けの自転車駐車場の維持管理を行う必要がある。			
効率性 評価	高い		自転車駐車場は業務委託にて運営しており、現状では、これ以上のコスト削減は不可能である。また、現在は誰でも無料で利用できており、有料になれば、公共スペースへの放置自転車数の増加、設備改修、管理運営費の増大等が見込まれるため、無料は適切である。			
有効性評価	高い		適切に施設の維持管理を行い、不足なく利用されており、歩行の妨げとなっている歩道などの公共スペースに駐輪する自転車の抑制にもつながり、交通環境の向上に貢献している。			
7. 前年度評価時の計画と実績						
100 1 100	評価★		載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★			
評価区分	成果の方向性 現状維持		とせず、直ちに 古報、旧等で自転車駐車場の利用促進を行う。			
二次評価	コストの方向性縮小	次年度以降に	- 予算(コス 各自転車駐車場の老朽化に伴い、必要に応じて補修を実施する。 長とし、中長期 吉原町自転車駐車場に常勤している人員を2名体制から無人もしくは1名体制への管理に変更することなどにより、そればりの制造を図り、自転車計車場の維持を確認される。			
前年度改善策	長に対する実績	★	※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入			
ホームページを利用し、自転車駐車場の周知を図り、利用促進を行った。 吉原町自転車駐車場照明修繕を行い、吉原町自転車駐車場管理委託における人員体制の見直しについて検討し委託料削減を図った。						
8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★						
日転車駐車場内に放置された自転車について調査、保管後、所有者照会を行い、所有者が判明した自転車については当該所有者に自転車を引き取るよう通知、引き取る者がいない自転車については廃棄処分し、自転車駐車場を快適に利用できる環境を構築した。また、管理委託における人員体制の見直し(2名→1名)により、委託料削減によるR7年度予算計上を行った。						
・ 課 一部の自転車駐車場では場内の放置自転車が多く見受けられるため放置自転車調査の実施時期及び回数について検討する。						
9.今後の事業の方向性と改善策						
成果の	方向性		売き自転車駐車場を快適に利用できる環境を構築するため			
現状維持						
コスト投入の方向性 こ 吉原町			J自転車駐車場に常勤している人員を2名体制から1名体制への管理に変更することなどにより、委託料の削減を図			
縮	小	理 る。 由 】				
	次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★					
776 (1.	予質等)を	I				

コスト(人・予算等)を 自転車駐車場利用時のマナー向上の啓発(ポスター掲示等)を行う。 必要とせず、ただちに実 市報、HP等で自転車駐車場の利用促進を行う。 施できる改善策

コスト(人・予算等)を 必要とし、中長期的に実

施する改善策

各自転車駐車場の老朽化に伴い、必要に応じて補修を実施する。 吉原町自転車駐車場に常勤している人員を2名体制から1名体制への管理に変更しており、終日開放するために防 犯対策として、放置自転車を保管している2階への扉の設置及び防犯カメラの設置を必要とする。

評価変更理由	成果の方向性	
	現状維持	自転車の管理は重要であり、駐車場の利用を確信している観点からも現状維持が望ましい。
	コスト投入の方向性	事業の有効性を再考した上で、委託が不要であれば削減してもよい。一方で、現在の委託料 は高額であるため、適切な競争をはたらかせることでコスト削減を図ること。
	縮小	